



クラス代表 3年A組 周郷亜樹奈
文化祭お疲れさまでした。そして、文化賞を受賞させていただき、本当にありがとうございました。私たちは、台風の影響で練習時間も少なく、当日の朝までタイミングを確認するなど、練習不足を感じながら本番を迎えましたが、観山の方々に観覧をいただき、私たちのファッションショーに成功したと実感しました。今まで色々ご迷惑をおかけしてしまいましたが、こうしてショーを成功させることが出来たのは、協力してくださった先生方、生徒の皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。



調理国際科 「L'AJITTO」 ～ラジット～

文化祭を終えて

クラス代表 3年B組 米本春輝

まずは調理国際科食堂「L'AJITTO」にお越し頂きありがとうございました。
 今回、食堂運営を行うにあたり、沢山のミスや学年間での連携がうまく取れていなかったりと悩むこともありましたが、お越し頂いたお客様に「おいしい」「良かった」などと褒めて頂けて、文化祭を頑張った良かったです。
 三年生の調理をはじめ、二年生の調理補助、一年生の食券販売や受付、案内をみんなが頑張った結果だと思います。
 一年生、二年生は、来年の食堂も頑張ってください。
 今後も調理国際科をお願いします。





修学旅行 in 沖縄
 2019.11.10 ~ 11.13
 2年生 222名
 大候に恵まれ、自然豊かな沖縄を満喫しました。



PTA 関東大会

広報委員長 三輪 久美子

七月十二・十三日、大宮で開催された第65回関東地区高等学校PTA連合会に参加致しました。今年のメインテーマは「絆を深め、新しい時代を担う子どもたちを育てよう」と令和の夏、学び続けるPTAの熱い風が吹く！でした。総会・全体会に続き、記念講演「夢が生きる力になる」ではタレントの向井亜紀さんが自身の闘病体験を語ってくれました。病氣（困難）に直面したら、まず、自分の不安や心配事をすべて紙に書き出し、それを受け止めた上で、叶っても叶わなくてもいいので自分なりの夢や目標を持つ。悪いイメージを毎日繰り返さず、心のスクリーンに美しいものを映し出すよう心がける。思考が楽しい未来に向かっていく人は病氣の予後が全然違う。イメージの力が肉体に及ぼす影響はとても大きいという事でした。我が子の成長を何事もなく見守っていただける幸せを再確認したひと時でした。参加させて頂き、誠にありがとうございました。



PTA 全国大会

PTA副会長 浅見 直美

八月二十二・二十三日に全国高等学校PTA連合大会が京都で開催されました。京都の歴史にふれる事もでき、有意義な時間を過ごさせて頂きました。初日の分科会はLINEの講演とワークショップでした。送信者と受信者では言葉の感じ方の違いによりトラブルがおき、いじめに発展するケースがあるとお話がありました。そのトラブルの解決方法や対策を教人のグループで意見交換しました。

二日目の全体会は、日本児童福祉会会長の記念講演でした。日本の大学教育で足りないもの、各家庭の教育でできていない事などのお話がありました。子どもの教育以前に親として学ばなければならぬ事が大切だと感じました。

二日間の充実した研修を今後の生活に活かしたいと思います。



生活体験発表会



九月六日、本校体育館にて定時制生徒による生活体験発表がありました。来賓に本校定時制教育振興会会長様、副会長様、理事様をお迎えし、緊張する中、各学年代表6名が学校生活で体験したこと、感じたこと、学んだことなどを発表しました。審査の結果、優勝者に1年次の高橋優海さんが選ばれ、十月十九日(土)千葉工業高等学校にて行われた第57回定時制通信制総合文化大会に参加、ついで十一月十六日(土)1000か所ミニ集会に本校代表として立派に発表しました。



「PTAバザール」

活気あふれる鹿陵祭

小島 史絵

去る、九月二十一、二十二日に行なわれた鹿陵祭。今年は二度目の参加をさせて頂き、普段はなかなか目にするのでできない学校の様子を鹿陵祭を通して、見ることができました。私もPTAの一員として模擬店を出し皆で協力して進めていくことができました。この鹿陵祭で感じることは、子どもたちや先生方との距離が近くなるということです。普段はなかなか会話をしたり触れ合うこととはないですが、ほんのひと時でも笑いあったり、語りあうことができる優良の機会であると感じます。一年後の鹿陵祭も皆さんと一緒に創りあげていきたいです。



十一月十九日 豊洲市場と東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」に行ってきました。



★編集後記★

今年の秋はいくつもの巨大台風が千葉県に上陸・接近を繰り返して、佐倉市内でも鹿島川と高崎川の氾濫、住宅等の浸水、道路冠水、土砂崩れなど甚大な被害がありました。被災された方々におかれましては、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災された皆様が、一日も早く平常の生活に戻ることができるようお祈り申し上げます。そんな中、鹿陵祭は両日ともに天候に恵まれ、皆さんの頑張りがあって無事開催することが出来ました。令和最初の鹿陵祭は素晴らしい思い出となりました。

K・M